

第8分科会（ワークショップ形式）

産学連携の新たな可能性

概要：

本分科会では、大学と多様なアクターとの連携について、地域連携活動の事例をもとに論点整理を図りながら、産学連携の新たな可能性について考えていく。特に、全国でさまざまなPBL型授業が展開される中で、自治体や企業等とどのように手を携えながら企画・運営を行っていくべきか、大学以外の外部アクターの視点を交えながら議論する。

具体的には、大学連携に主体的かつ積極的に関わっているNPO、高校、民間企業という三者から話題提供をいただき、ワークショップ形式で大学が（に）できること／できないこと、外部アクターとの連携の余地とイノベーションの可能性について考えていく。大学教育においてPBLに取り組む上で、担当コーディネーター自身の経験にはなるが、たとえばプロジェクトでの学生のチームビルディングや、対象地域の普段の生活状況の把握など、担当教員の専門性や業務の範疇にはとどまらないところでさまざまなスキルや力が求められる局面がある。こうした課題に対し、本分科会では、大学以外の外部アクターと積極的に連携することによる効果や、他大学の連携事例もふまえた産学連携の新たな可能性を見据えた知見を共有していく。

<プログラム>

14：30 趣旨説明 大谷大学社会学部 講師 野村 実 氏

14：40 講演1.「PBLにおけるチームビルディングの支援」

特定非営利活動法人SET 交流部副部長 小林 敬志氏

15：00 講演2.「高校における『総合的な探究』と大学との連携」

京都府立丹後緑風高校網野学舎 教諭 勝山 鉄矢氏

15：20 講演3.「地図アプリの開発とデザインを通じた産学連携」

株式会社コギト デザイナー・イラストレーター 八島 潤子氏

15：40 休憩

15：50 グループワーク

16：50 総括